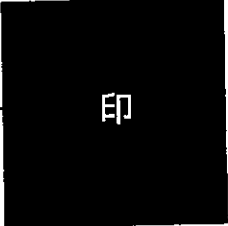


近畿厚生局長 殿

京都府公立大学法人
理事長 荒巻 禎



京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	213 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数



職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	207 人	279 人	486.0 人	看護補助者	41 人	診療エックス線技師	1 人
歯科医師	5 人	19 人	24.0 人	理学療法士	12 人	臨床検査技師	51 人
薬剤師	31 人	10 人	38.7 人	作業療法士	6 人	臨床衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	13 人	その他	人
助産師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧	人
看護師	708 人	34 人	729.9 人	臨床工学技士	6 人	医療社会事業従事者	1 人
准看護師	2 人	1 人	2.3 人	栄養士	6 人	その他の技術員	7 人
歯科衛生士	2 人	人	2.0 人	歯科技工士	2 人	事務職員	109 人
管理栄養士	4 人	2 人	5.6 人	診療放射線技師	35 人	その他の職員	31 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	672.7 人	2.6 人	675.3 人
1日当たり平均外来患者数	1,706.3 人	134.5 人	1,840.8 人
1日当たり平均調剤数	入院：1,394.1劑	外来：286.1劑	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	17人
末梢血単核球細胞移植による慢性閉塞性動脈硬化症等に対する血管再生治療	6人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	24人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	16人
膀胱尿管逆流症及び巨大尿管症に対する腹腔鏡下膀胱内手術	1人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	—人
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	—人
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	—人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	129人	・膿疱性乾癬	9人
・多発性硬化症	58人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	133人	・原発性胆汁性肝硬変	139人
・全身性エリテマトーデス	552人	・重症急性膵炎	19人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	61人
・再生不良性貧血	80人	・混合性結合組織病	108人
・サルコイドーシス	237人	・原発性免疫不全症候群	7人
・筋萎縮性側索硬化症	15人	・特発性間質性肺炎	29人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	363人	・網膜色素変性症	29人
・特発性血小板減少性紫斑病	111人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	9人	・肺動脈性肺高血圧症	32人
・潰瘍性大腸炎	228人	・神経線維腫症	20人
・大動脈炎症候群	28人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	42人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	65人	・慢性血栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	50人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	94人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	41人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	247人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	49人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	15人
・後縦靭帯骨化症	191人	・肥大型心筋症	131人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	35人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	38人	・リンパ管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	45人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	10人	・黄色靭帯骨化症	36人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	132人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト心臓内多能性幹細胞と幹細胞増幅因子bFGF徐放シートのハイブリッド移植療法による心筋再生医療の多施設共同型臨床開発	松原 弘明	循環器腎臓内科	49,691,000	補 委 厚生労働省
難治性血管炎に対する血管再生療法の多施設共同研究	松原 弘明	循環器腎臓内科	2,200,000	補 委 厚生労働省
難治性血管炎に関する調査研究	松原 弘明	循環器腎臓内科	150,000	補 委 厚生労働省
ヒト心臓内幹細胞の増殖・分化誘導因子の発見と心筋分化初期プライミング因子の探索	松原 弘明	循環器腎臓内科	19,540,000	補 委 文部科学省
心血管ストレスに応答するチロシンキナーゼの作用機序とその制御による創薬の試み	沖垣 光彦	循環器腎臓内科	2,690,000	補 委 文部科学省
p53、SCO2による心筋ミトコンドリア好氣的エネルギー代謝調節と心筋細胞死	的場 聖明	循環器腎臓内科	2,210,000	補 委 文部科学省
心不全における細胞の生死に係るミトコンドリア機能解析と生体組織工学アプローチ	金井 恵理	循環器腎臓内科	1,690,000	補 委 文部科学省
心筋細胞特異的新規ERタンパクの同定と心筋細胞分化・心不全発症における機能解析	高橋 知三郎	循環器腎臓内科	2,210,000	補 委 文部科学省
脂肪酸結合蛋白の発現調節機構を標的とした病的腎臓由来の新規動脈硬化促進因子の同定	山田 浩之	循環器腎臓内科	1,560,000	補 委 文部科学省
筋特異的遺伝子MURCの同定と心不全・不整脈発症における分子機構の解析	田川 雅梓	循環器腎臓内科	2,176,000	補 委 文部科学省
心筋幹細胞の心筋分化機構におけるmicro RNAの発現様式の検不全、不整脈に関する筋特異的遺伝子MURCの結合タンパク質の同定とその機能の解析	上山 知己	循環器腎臓内科	1,755,000	補 委 文部科学省
p53、TIGARを介した心筋代謝制御による心不全治療の研究	木股 正樹	循環器腎臓内科	1,292,000	補 委 文部科学省
心血管ストレスに応答するチロシンキナーゼの作用機序解明とその制御による創薬の試み	松井 朗裕	循環器腎臓内科	1,632,000	補 委 文部科学省
血管内皮アポトーシスを制御する新規遺伝子BLADEの血管新生における機能の解明	池田 宏二	循環器腎臓内科	2,860,000	補 委 文部科学省
悪性リンパ腫に対する免疫化学療法の最適化による新たな標準的治療の確立	谷脇 雅史	血液・腫瘍内科	1,000,000	補 委 名古屋医療センター
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発に関する研究	谷脇 雅史	血液・腫瘍内科	1,200,000	補 委 名古屋大学大学院

小計
16

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
成人T細胞白血病(ATL)に対する同種幹細胞移植法の開発とそのHTLV-1排除機構の解明に関する研究	谷 脇 雅 史	血液・腫瘍内科	300,000	補委 国立病院機構九州がんセンター
再発・難治性骨髄腫に対する至適分子標的療法の確立と生物学的治療予測因子の検索	黒 田 純 也	血液・腫瘍内科	1,500,000	補委 名古屋市立大学
シャルコー・マリー・トウス病の診断・治療・ケアに関する研究	中 川 正 法	神経内科	13,000,000	補委 厚生労働科学研究
アレキサンダー病の診断基準の作成、全国疫学調査、病態解明・治療法開発のための研究	中 川 正 法	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究
神経変性疾患に関する調査研究	中 川 正 法	神経内科	1,200,000	補委 厚生労働科学研究
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	中 川 正 法	神経内科	1,200,000	補委 厚生労働科学研究
難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発	中 川 正 法	神経内科	750,000	補委 厚生労働科学研究
認知症、運動器疾患等の老年病罹患状況及び高齢者の心身状況把握のための長期疫学的調査研究	中 川 正 法	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究
遺伝性脳小血管病の病態機序の解明と治療法の開発	水 野 敏 樹	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究
ニューロパチーの病態解明に関する研究	滋 賀 健 介	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究
シャルコー・マリー・トウス病の診断・治療・ケアに関する研究	滋 賀 健 介	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究
アレキサンダー病の診断基準の作成、全国疫学調査、病態解明・治療法開発のための研究	吉 田 誠 克	神経内科	18,000,000	補委 厚生労働科学研究
わが国で発見された遺伝性運動感覚ニューロパチーの海外学術調査とその病態解明	中 川 正 法	神経内科	6,760,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
わが国で発見された遺伝性運動感覚ニューロパチーの海外学術調査とその病態解明	滋 賀 健 介	神経内科	300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
α -シヌクレイン分解酵素ニューロシンの細胞内プロテアーゼ特性と制御因子の検討	徳 田 隆 彦	神経内科	910,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
α シヌクレインノパチーにおけるアミロイド伝播機序の解明研究	笠 井 高 士	神経内科	2,340,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
新しい胃癌の癌抑制遺伝子RUNX3の細胞分化・癌化機構の解明と診断・治療への応用	阪 倉 長 平	消化器外科	6,200,000	補委 日本学術振興会
新規癌細胞分泌タンパク質による早期大腸癌血清診断法の確立	菊 池 正 二 郎	消化器外科	1,700,000	補委 日本学術振興会
免疫細胞活性化カラムを用いた体外循環治療技術を併用した癌ワクチン治療の開発	伊 藤 剛	消化器外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
IL-6関連分子解析に基づく食道癌に対する化学放射線療法の新規効果予測および効果増強法の開発	藤 原 斉	消化器外科	500,000	補委 公益信託 癌臨床研究助成金
高分子アクチュエータを用いた内視鏡手術ツールの把持機構と制御方式の研究	西 川 敦、 島 田 順 一	呼吸器外科	500,000	補委 文部科学省

小計
21

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遠隔操作による内視鏡手術支援システムの研究開発	島田 順一	呼吸器外科	1,050,000	補委 独立行政法人情報通信研究機構
特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究	久保 俊一	整形外科	2,000,000	補委 厚生労働省
関節軟骨疾患治療に向けた関節内環境ストレス応答機構の解明	久保 俊一	整形外科	5,400,000	補委 文部科学省科学
温熱および微弱電流刺激を併用したストレス蛋白質発現増強による関節軟骨治療法の開発	久保 俊一	整形外科	1,700,000	補委 文部科学省科学
生体吸収材料および自家多血小板血漿を用いた骨芽細胞誘導による脊椎固定術の開発	長谷 斉	整形外科	1,200,000	補委 文部科学省科学
足部疾患に対する3次元動態解析法の確立 —足部疾患患者の歩行改善を目指して—	徳永 大作	整形外科	1,600,000	補委 文部科学省科学
ビスフォスフォネートを用いた悪性骨軟部腫瘍に対する治療戦略	村田 博昭	整形外科	1,300,000	補委 文部科学省科学
末梢神経再生におけるグルココルチコイド作用の蛍光イメージング解析	藤原 浩芳	整形外科	1,000,000	補委 文部科学省科学
Scleraxisを用いた悪性軟部腫瘍に対する新規治療戦略	坂部 智哉	整形外科	1,200,000	補委 文部科学省科学
変性関節軟骨内部における荷重応答の解析	生駒 和也	整形外科	1,040,000	補委 文部科学省科学
拡散テンソル法をもちいた末梢神経損傷の新たな診断法の確立	小田 良	整形外科	1,200,000	補委 文部科学省科学
関節軟骨に対する陽イオン造影剤の開発	生駒 和也	整形外科	6,464,000	補委 JST
子宮内膜症性嚢胞の悪性転化に伴う癌関連遺伝子近傍の遺伝子変異の解析	北脇 城	女性生涯医学	3,120,000	補委 科研費
ネットワーク回線を用いた胎児超音波遠隔診断システムの構築	大久保 智治	女性生涯医学	1,000,000	補委 京都府地域関連課題等研究支援
子宮体癌の検査特異的バイオマーカーとしてのマイクロRNAの同定	黒星 晴夫	女性生涯医学	200,000	補委 京都がん協会
iPS細胞技術を用いた腫瘍幹細胞のリプログラミングによる小児難治性肉腫の治療開発	細井 創	小児発達医学	1,000,000	補委 文部科学省科学研究補助金
小児がん患者へのより正確で負担の少ない分子生物学的診断法普及のための研究	細井 創	小児発達医学	1,000,000	補委 財団法人がんの子供を守る会研究事業
神経芽腫臨床試験を基盤とした基礎医学的研究およびトランスレーショナルリサーチ	家原 知子	小児発達医学	1,000,000	補委 文部科学省科学研究補助金
神経芽腫におけるリスク分類にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発研究に関する研究	家原 知子	小児発達医学	500,000	補委 厚生労働省厚生労働科学がん研究費補助金

小計
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
MLL-AF4ファミリー融合蛋白の白血病発症機序の解析と新規治療法の開発	今村俊彦	小児発達医学	2,340,000	補 文部科学省科学研究補助金 委 直接経費：1,800千円 間接経費：540千円
乳児ランゲルハンス細胞組織球症の病態解明と診療研究	今村俊彦	小児発達医学	2,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服事業 委
横紋筋肉腫におけるインプリンティング異常の血清診断	菊地 顕	小児発達医学	800,000	補 文部科学省科学研究補助金 委
細胞老化とエピジェネティック変化の制御による角膜上皮細胞治療法の基盤技術の開発	木下 茂	眼科	4,900,000	補 文部科学省 委
IkBzを介したヒト眼表面炎症制御機構の解明ならびに新規抗炎症治療薬の開発	木下 茂	眼科	1,500,000	補 文部科学省 委
涙液油層の動態解析法の開発と涙液油層動態決定因子の探索的研究	横井 則彦	眼科	1,800,000	補 文部科学省 委
複合型粘膜上皮移植と免疫系制御による眼表面再生医療への展開	稲富 勉	眼科	1,200,000	補 文部科学省 委
血管成熟・リンパ管新生抑制の新しい治療法	丸山 和一	眼科	1,700,000	補 文部科学省 委
加齢黄斑変性症に対する新規予防法の開発	関山 英一	眼科	910,000	補 文部科学省 委
スペクトラルドメインOCTを用いた脈絡膜断層撮影による網脈絡膜疾患の病態解明	古泉 英貴	眼科	1,050,000	補 文部科学省 委
緑内障診断SNPチップと変形プロトミクス解析による緑内障統合的診断法の開発	木下 茂	眼科	26,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
高齢者の感覚器（視覚・聴覚）における機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究	木下 茂	眼科	19,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
円錐角膜の疫学と治療実態に関する研究	木下 茂	眼科	2,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
Fuchs角膜内皮変性症および関連疾患に関する調査研究	木下 茂	眼科	1,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
重症多型滲出性紅斑に関する調査研究	外園 千恵	眼科	12,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
重症眼疾患に対するカスタムメイドスクレラルコンタクトレンズの性能評価	木下 茂	眼科	4,720,000	補 受託研究ものづくり 委
水疱性角膜症に対する新規点眼治療法の開発	木下 茂	眼科	2,310,000	補 独立行政法人科学技術振興機 委
遺伝子多型解析による重症薬疹発症予測アルゴリズムの開発	外園 千恵	眼科	2,800,000	補 独立行政法人科学技術振興機 委
Body-GPSを導入した4次元手術ナビゲーションシステムの開発	浮村 理、 高羽夏樹	泌尿器科	13,650,000	補 文部科学省 委

小計
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
3次元空間イチ認識システムを適応した テンプレート前立腺生検法の開発	沖原宏治	泌尿器科	3,510,000	補 委 文部科学省
再生基質に羊膜を用いた尿路再生	内藤泰行	泌尿器科	1,950,000	補 委 文部科学省
前立腺MRIと超音波の融合3次元ガイダンスによる高精度前立腺針生検法の開発	浮村 理、 中村晃和	泌尿器科	1,100,000	補 委 文部科学省
がん検診の評価とあり方に関する研究	三木恒治	泌尿器科	1,500,000	補 委 厚生労働省
診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の構築と運用	三木恒治	泌尿器科	1,000,000	補 委 厚生労働省
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法に関する研究	三木恒治	泌尿器科	650,000	補 委 厚生労働省
大規模コホート研究による稀少がんと生活習慣との関連の検討	三木恒治	泌尿器科	0	補 委 厚生労働省
手術結果予測機能を備える4次元画像による低侵襲手術支援システムの開発	浮村 理	泌尿器科	1,790,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
前立腺針生検3次元穿刺位置情報ソフトの開発	沖原宏治	泌尿器科	1,790,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
喉頭神経制御機構の解明とその障害への対応に関する総合的研究	久 育 男	耳鼻咽喉科	10,790,000	補 委 日本学術振興会
頭頸部扁平上皮癌に対するサイトカイン免疫遺伝子治療の開発	中 野 宏	耳鼻咽喉科	1,560,000	補 委 日本学術振興会
聴覚受容に重要な働きをもつ感覚系構成分子の代謝動態に関する研究	坂 口 博 史	耳鼻咽喉科	2,600,000	補 委 日本学術振興会
上皮ナトリウム吸収と好酸球性炎症の関連	安 田 誠	耳鼻咽喉科	1,560,000	補 委 日本学術振興会
平成21年度精神・神経疾患研究委託費「摂食障害の疫学、病態と診断、治療法、転帰と予後に関する総合的研究」(主任研究者:切池信夫)	福居 顯 二	精神神経科	500,000	補 委 厚生労働省
平成21年度厚生労働科学研究費補助金・障害保健福祉総合研究事業、「障害者および精神障害者に関する普及啓発に関する研究」(主任研究者:保坂 隆)	福居 顯 二	精神神経科	5,000,000	補 委 厚生労働省 主任研究者一括 5,000千円
平成21年度大阪認知症研究会医学研究助成	成 本 迅	精神神経科	600,000	補 委 大阪認知症研究会
平成21年度京都府公立大学法人地域関連課題等支援費	成 本 迅	精神神経科	1,000,000	補 委 京都府公立大学法人
平成21年度科学技術振興機構社会技術開発センター「高齢社会に関する新しい研究開発領域」研究課題深掘り調査費。認知症患者の権利擁護のための意思決定能力判定システムの開発。	成 本 迅	精神神経科	900,000	補 委 科学技術振興機構
育児期の女性における不安・抑うつと虐待危険性に関する精神医学的研究	崔 炯 仁	精神神経科	1,820,000	補 委 文部科学省

小計
19

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Proc Natl Acad Sci USA	Identification of ARIA regulating endothelial apoptosis and angiogenesis by modulating proteasomal degradation of cIAP-1 and cIAP-2.	池田宏二・松原弘明	循環器腎臓内科
Current Pharmaceutical Design	Therapeutic angiogenesis for peripheral artery diseases by autologous bone marrow cell transplantation.	的場聖明・松原弘明	循環器腎臓内科
Proc Natl Acad Sci USA	Polo-like kinases mediate cell survival in mitochondrial dysfunction.	的場聖明	循環器腎臓内科
Circ Res.	Pressure-mediated hypertrophy and mechanical stretch induces IL-1 release and subsequent IGF-1 generation to maintain compensative hypertrophy by affecting Akt and JNK pathways.	沖垣光彦・松原弘明	循環器腎臓内科
J Mol Cell Cardiol	Endothelium-targeted overexpression of constitutively active FGF receptor induces cardioprotection in mice myocardial infarction.	沖垣光彦・松原弘明	循環器腎臓内科
Biochem Biophys Res Commun	Prorenin induces ERK activation in endothelial cells to enhance neovascularization independently of the renin-angiotensin system.	池田宏二・松原弘明	循環器腎臓内科
Amyloid	Cardiomyopathy in a Japanese family with the Glu61Lys transthyretin variant: a new phenotype	的場聖明	循環器腎臓内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol.	Replicative senescence of vascular smooth muscle cells enhances the calcification through initiating the osteoblastic transition.	池田宏二・松原弘明	循環器腎臓内科
Hypertension	Deficiency of Nectin-2 Leads to Cardiac Fibrosis and Dysfunction Under Chronic Pressure Overload.	松原弘明	循環器腎臓内科
Heart Vessels	Altered expression of Na ⁺ transporters at the mRNA level in rat normal and hypertrophic myocardium.	松原弘明	循環器腎臓内科
J Biol Chem	Intermediate fixed coronary artery stenosis at the site of ergonovine-provoked spasm as a predictor of long-term major adverse cardiac events of patients with coronary spastic angina.	松原弘明	循環器腎臓内科
Hypertens Res.	The Japanese Society of Hypertension Guidelines for the Management of Hypertension (JSH 2009).	松原弘明	循環器腎臓内科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arterioscler Thromb Vasc Biol.	Bone marrow angiotensin AT1 receptor regulates differentiation of monocyte lineage progenitors from hematopoietic stem cells.	山田浩之・松原弘明	循環器腎臓内科
Circ J	Septal Q wave as a marker of septal ischemia in hypertrophic cardiomyopathy.	松原弘明	循環器腎臓内科
Circ J.	Erythropoietin in patients with acute coronary syndrome and its cardioprotective action after percutaneous coronary intervention.	松原弘明	循環器腎臓内科
Eur Heart J.	Effects of valsartan on morbidity and mortality in uncontrolled hypertensive patients with high cardiovascular risks: KYOTO HEART Study.	沢田尚久・松原弘明	循環器腎臓内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol.	Bone marrow AT1 augments neointima formation by promoting mobilization of smooth muscle progenitors via platelet-derived SDF-1[alpha].	山田浩之・松原弘明	循環器腎臓内科
Hypertens Res.	Aldosterone nongenomically produces NADPH oxidase-dependent reactive oxygen species and induces myocyte apoptosis.	松原弘明	循環器腎臓内科
Amyloid	Early cardiac involvement in senile systemic amyloidosis	沢田尚久・松原弘明	循環器腎臓内科
Arzneimittelforschung.	Effect of darbepoetin alfa on renal anemia in Japanese hemodialysis patients.	松原弘明	循環器腎臓内科
Am J Emerg Med.	Lethal arrhythmia and corticosteroid insufficiency.	上山知己・松原弘明	循環器腎臓内科
Circ J.	Intermediate fixed coronary artery stenosis at the site of ergonovine-provoked spasm as a predictor of long-term major adverse cardiac events of patients with coronary spastic angina.	松原弘明	循環器腎臓内科
Circ J.	Long-term follow-up of "reversible" dilated cardiomyopathy with improvement of cardiac sympathetic nerve activity after cardiac resynchronization therapy (CRT). Do "CRT superresponders" have "dyssynchrony-induced cardiomyopathy" ?	松原弘明	循環器腎臓内科
Critical reviews in oncology/hematology. 71巻. 2009年8月	Involvement of BH3-only proteins in hematologic malignancies .	Kuroda J	血液・腫瘍内科
International journal of hematology. 90巻. 2009年7月	Tocilizumab is effective for pulmonary hypertension associated with multicentric Castleman's disease	Taniguchi K	血液・腫瘍内科

小計

13

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International journal of hematology. 89 巻. 2009年	Monosomies 7p and 12p and FLT3 internal tandem duplication: possible markers for diagnosis of T/myeloid biphenotypic acute leukemia and its clonal evolution.	Matsumoto Y	血液・腫瘍内科
Internal Medicine. 48 巻. 2009年.	Early ultrasonographic diagnosis and clinical follow-up of hepatic veno-occlusive disease after allogeneic bone marrow transplantation in a patient with acute lymphoblastic leukemia.	Matsumoto Y	血液・腫瘍内科
Hepatogastroenterology . 56巻. 2009年	Length of vancomycin administration for treatment of clostridium difficile-associated diarrhea may depend on presentation of colonic ulcer	Yamashita M	血液・腫瘍内科
Clinical Neuropharmacology	Cognitive impairment and cerebral hypoperfusion in a cerebral autosomal dominant arteriopathy with subcortical infarcts and leukoencephalopathy patient improved during administration of lomerizine.	Toshiki Mizuno	神経内科
Brain Research	GSF α -synuclein levels in dementia with Lewy bodies and Alzheimer's disease.	Takahiko Tokuda	神経内科
Archives of Neurology	Mutations for Gaucher disease confer high susceptibility to Parkinson disease.	Ikuko Mizuta	神経内科
Neuroscience Letters	The process of inducing GFAP aggregates in astrocytoma-derived cells is different between R239C and R416W mutant GFAP. A time-lapse recording study.	Tomokatsu Yoshida	神経内科
Acta Neuropathologica	Increased TDP-43 protein in cerebrospinal fluid of patients with amyotrophic lateral sclerosis.	Takashi Kasai	神経内科
Neuroradiology	Assessment of arcuate fasciculus with diffusion-tensor tractography may predict the prognosis of aphasia in patients with left middle cerebral artery infarcts.	Akiko Hosomi	神経内科
Amyloid: Journal of Protein Folding Disorders	Cardiomyopathy in a Japanese family with the Glu61Lys transthyretin variant: a new phenotype.	Yuichi Noto	神経内科
Brain and Nerve	失行における身体部位の物品化現象 (BPO) と接近現象 (Closing-in) の発生機序について.	近藤 正樹	神経内科
高次脳機能研究	側頭葉型Pick病 (意味性認知症) における行為表出・行為理解障害.	近藤 正樹	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Peripheral Nerve	末梢神経障害と心アミロイドーシスを主徴としたGlu61Lys変異による家族性アミロイドポリニューロパチー (FAP) の一家系	能登 祐一	神経内科
神経治療学	Lomerizine HCl投与により認知機能と脳血流の改善を3年間認めたcerebral autosomal dominant arteriopathy with subcortical infarcts and leukoencephalopathy の1例	石神 紀子	神経内科
Surgery Today	Primary large gastrointestinal stromal tumor of the liver: report of a case	落合登志哉	消化器外科
Surgical Laparoscopy Endoscopy & Percutaneous Techniques	Intracorporeal billroth anastomosis using a circular stapler by the abdominal wall lifting method in laparoscopy-assisted distal gastrectomy.	市川大輔	消化器外科
Journal of Surgical Oncology	Prognostic impact of lymphatic invasion in patients with node-negative gastric cancer.	市川大輔	消化器外科
International journal of cancer	Gene transfer of NK4, an angiogenesis inhibitor, induces CT26 tumor regression via tumor-specific T lymphocyte activation.	窪田健	消化器外科
Clinical and Experimental Metastasis	NK4, an HGF antagonist, prevents hematogenous pulmonary metastasis by inhibiting adhesion of CT26 cells to endothelial cells.	窪田健	消化器外科
Hepato-Gastroenterology	Regeneration of peritoneum using amniotic membrane to prevent postoperative adhesions.	栗生宜明	消化器外科
SURGERY	Prognostic impact of the width of subserosal invasion in gastric cancer invading the subserosal layer.	曾我耕次	消化器外科
Anticancer Research	Latrunculin A has a strong anticancer effect in a peritoneal dissemination model of human gastric cancer in mice.	小西博貴	消化器外科
Journal of Radiology Case Reports	Noncontrast and contrast enhanced computed tomography for diagnosing acute appendicitis: A retrospective study for the usefulness.	北川真希	消化器外科
Anticancer Research	Quantitative analysis of tumor-derived methylated RUNX3 sequences in the serum of gastric cancer patients.	阪倉長平	消化器外科
Hepato-gastroenterology.	Laparoscope-assisted superlow anterior resection combined with intersphincteric rectal dissection for very low advanced rectal cancers combined with preoperative chemotherapy.	阪倉長平	消化器外科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Carcinogenesis	Overexpression of SMYD2 relates to tumor cell proliferation and malignant outcome of esophageal squamous cell carcinoma.	小松周平	消化器外科
International journal of cancer	Precise detection of lymph node metastases in mouse rectal cancer by using 5-aminolevulinic acid.	村山康利	消化器外科
Molecular Cancer	A combination of indol-3-carbinol and genistein synergistically induces apoptosis in human colon cancer HT-29 cells by inhibiting Akt phosphorylation and progression of autophagy.	中村吉隆	消化器外科
京都府立医科大学雑誌	【各科領域における低侵襲・機能温存手術の現状と今後の展望】 呼吸器外科領域での低侵襲医療と医用工学の進歩	島田順一	呼吸器外科
Spine, 34 : 276-280, 2009 Apr 15	Muscle-preserving interlaminar decompression for the lumbar spine: a minimally invasive new procedure for lumbar spinal canal stenosis	Hatta, Y., Shiraishi, T., Sakamoto, A., Yato, Y., Harada, T., Mikami, Y., Hase, H., Kubo, T.	整形外科
Journal of Pediatric Orthopaedics B, Epub : 2009 Jul 18	Transepiphyseal reconstruction of the anterior cruciate ligament in skeletally immature athletes: An MRI evaluation for epiphyseal narrowing	Higuchi, T., Tsuji, Y., Hara, T., Kubo, T.	整形外科
Journal of Gene Medicine, 12:776-783, 2010 Feb	MDR1a/1b gene silencing enhances drug sensitivity in rat fibroblast-like synoviocytes	Honjo, K., Takahashi, KA., Hiraoka, N., Tokunaga, D., Inoue, A., Mazda, O., Kishida, T., Inoue, H., Kubo, T	整形外科
Foot and Ankle International, 30 : 1094-1100, 2009 Nov	In vivo three-dimensional analysis of hindfoot kinematics	Imai, K., Tokunaga, D., Takatori, R., Ikoma, K., Maki, M., Ohkawa, H., Ogura, A., Tsuji, Y., Inoue, N., Kubo, T	整形外科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Modern Rheumatology, 19 : 125-133, 2009 Nov 22	Comparison of anti-rheumatic effects of local RNAi-based therapy in collagen induced arthritis rats using various cytokine genes as molecular targets	Inoue, A., Takahashi, KA., Mazda, O., Arai, Y., Saito, M., Kishida, T., Shin-Ya, M., Moriyama, T., Tonomura, H., Sakao, K., Imanishi, J., Kubo, T	整形外科
Journal of Arthroplasty, 24 : 1193-1199, 2009 Dec	Short-term results of the S-ROM-A femoral prosthesis: operative strategies for Asian patients with osteoarthritis	Kido, K., Fujioka, M., Takahashi, K., Ueshima, K., Goto, T., Kubo, T	整形外科
Cancer Letter, 274 : 271-278, 2009 Feb 18	Clinically relevant dose of zoledronic acid inhibits spontaneous lung metastasis in a murine osteosarcoma model	Koto, K., Horie, N., Kimura, S., Murata, H., Sakabe, T., Matsui, T., Watanabe, M., Adachi, S., Maekawa, T., Fushiki, S., Kubo, T.	整形外科
Journal of Orthopaedic Science, 14 : 776-783, 2009 Nov	Influence of extracellular matrix on the expression of inflammatory cytokines, proteases, and apoptosis-related genes induced by hydrostatic pressure in three- dimensionally cultured chondrocytes	Kunitomo, T., Takahashi, KA., Arai, Y., Sakao, K., Honjo, K., Saito, M., Inoue, A., Tonomura, H., Moriyama, T., Mazda, O., Imanishi, J., Kubo, T	整形外科
Biomedical Research, 30 : 137-141, 2009 Apr	Blockers of K ⁺ /Cl ⁻ transporter/channels diminish proliferation of osteoblastic cells	Maki, M., Miyazaki, H., Niisato, N., Moriyama, T., Marunaka, Y., Kubo, T.	整形外科

小計

5

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Orthopaedic Research, 28:156-163, 2010 Feb	N-acetylcysteine prevents nitric oxide-induced chondrocyte apoptosis and cartilage degeneration in an experimental model of osteoarthritis	Nakagawa, S., Arai, Y., Mazda, O., Kishida, T., Takahashi, KA., Sakao, K., Saito, M., Honjo, K., Imanishi, J., Kubo, T.	整形外科
Biochemical and Biophysical Research Communications, 388 : 467-472, 2009 Oct 23	Small interfering RNA targeting CD81 ameliorated arthritis in rats	Nakagawa, S., Arai, Y., Mori, H., Matsushita, Y., Kubo, T., Nakanishi, T	整形外科
Clinical and Experimental Rheumatology, 27 : 201-207, 2009 Mar-Apr	Intraarticular administration of platelet-rich plasma with biodegradable gelatin hydrogel microspheres prevents osteoarthritis progression in the rabbit knee	Saito, M., Takahashi, KA., Arai, Y., Inoue, A., Sakao, K., Tonomura, H., Honjo, K., Nakagawa, S., Inoue, H., Tabata, Y., Kubo, T	整形外科
Journal of Orthopaedic Surgery, 17 : 36-41, 2009 Apr	Total hip arthroplasty using proximal porous coating stem with distal sleeve: mid-term outcome	Saito, M., Takahashi, KA., Fujioka, M., Ueshima, K., Sakao, K., Inoue, S., Kubo, T	整形外科
Journal of Bone Mineral Metabolism, 27 : 412-423, 2009 Apr 1	Osteoblasts derived from osteophytes produce interleukin-6, interleukin-8 and matrix metalloproteinase-13 in osteoarthritis	Sakao, K., Takahashi, KA., Arai, Y., Saito, M., Honjo, K., Hiraoka, N., Asada, H., Shin-Ya, M., Imanishi, J., Mazda, O., Kubo, T	整形外科
Journal of Orthopaedic Science, 14 : 738-747, 2009 Dec 8	Asporin and transforming growth factor-beta gene expression in osteoblasts from subchondral bone and osteophytes in osteoarthritis	Sakao, K., Takahashi, KA., Arai, Y., Saito, M., Honjo, K., Hiraoka, N., Kishida, T., Mazda, O., Imanishi, J., Kubo, T.	整形外科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Tissue Engineering. Part A, 15 : 3719-3727, 2009 Dec	Characterization of in vivo effects of platelet-rich plasma and biodegradable gelatin hydrogel microspheres on degenerated intervertebral discs	Sawamura, K., Ikeda, T., Nagae, M., Okamoto, S., Mikami, Y., Hase, H., Ikoma, K., Yamada, T., Sakamoto, H., Matsuda, K., Tabata, Y., Kawata, M., Kubo, T	整形外科
International Journal of Hyperthermia, 25 : 661-667, 2009 Dec	Hyperthermia for the treatment of articular cartilage with osteoarthritis	Takahashi, KA., Tonomura, H., Arai, Y., Terauchi, R., Honjo, K., Hiraoka, N., Hojo, T., Kunitomo, T., Kubo, T	整形外科
Neuropathology, 29 : 211-218, 2009 Jun	The expression pattern of PKC θ in satellite cells of normal and regenerating muscle in the rat	Tokugawa, S., Sakuma, K., Fujiwara, H., Hirata, M., Oda, R., Morisaki, S., Yasuhara, M., Kubo, T	整形外科
Journal of Orthopaedic Science, 14(3):320-9, 2009 May	Measurement of bone electrical impedance in fracture healing	Yoshida, T., Kim, W-G., Kawamoto, K., Hirashima, T., Oka, Y., Kubo, T	整形外科
Cancer Genet Cytogenet. 189(2) : 98-104, 2009.	A novel PAX3 rearrangement in embryonal rhabdomyosarcoma	細井 創	小児発達医学
Br J Cancer 100(2) : 399-404, 2009.	RASSF1A hypermethylation in pretreatment serum DNA of neuroblastoma patients: a prognostic marker	三沢あき子	小児発達医学
Clin Cancer Res 15(12) : 4077-4084, 2009.	Restoration of p53 pathway by nutlin-3 induces cell cycle arrest and apoptosis in human rhabdomyosarcoma cells	宮地 充	小児発達医学
J Clin Oncol 27(2) : 289-297, 2009.	INRG Task Force. The International Neuroblastoma Risk Group (INRG) classification system: an INRG Task Force report.	家原知子	小児発達医学
Proc Natl Acad Sci USA. 106(31): 12838-12842, 2009	Three susceptible loci associated with primary open-angle glaucoma identified by genome-wide association study in a Japanese population.	Ikeda Y	眼科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Allergy Clin Immunol. 123: 466-471, 2009.	Prostaglandin E Receptor Subtype EP3 in Conjunctival Epithelium Regulates Late-Phase Reaction of Experimental Allergic Conjunctivitis.	Ueta M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 50(6): 2679-2685, 2009.	Novel sutureless keratoplasty with a chemically defined bioadhesive.	Takaoka M	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 50(8): 3680-3687, 2009.	Enhancement on primate corneal endothelial cell survival in vitro by a ROCK inhibitor.	Okumura N	眼科
Ophthalmology 116(4) : 685-90, 2009.	Diagnosis and treatment of Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis with ocular complications.	Sotozono C,	眼科
Am J Ophthalmol. 147(6):1004-1011, 2009.	Successful treatment of Stevens-Johnson syndrome with steroid pulse therapy at disease onset	Araki Y	眼科
Br J Ophthalmol. 2009	Blue light and near-infrared fundus autofluorescence in acute Vogt-Koyanagi-Harada disease.	Koizumi H	眼科
Br J Ophthalmol. 94(3):336-40, 2010	Examination of Staphylococcus aureus on the Ocular Surface of Patients With Catarrhal Ulcers.	Ueta M	眼科
Ophthalmic Surg Lasers Imaging. 40:174-176, 2009	Spectral-domain optical coherence tomographic findings of occult macular dystrophy.	Koizumi H	眼科
Ophthalmic Surg Lasers Imaging. 40: 513-515, 2009.	Retinal arteriolar macroaneurysm and congenital retinal macrovessel.	Koizumi H	眼科
Arch Dermatol 145(11): 1336-37, 2009	The Management of Severe Ocular Complications of Stevens-Johnson Syndrome and Toxic Epidermal Necrolysis.	Sotozono C	眼科
Neurourol Urodyn, 28(8), 2009	Analysis of bladder diary with urinary perception to assess overactive bladder symptoms in community-dwelling women	Kawauchi A Miki T	泌尿器科
International Journal of Urology, 16(4), 2009. 4.	Post-chemotherapy nerve-sparing retroperitoneal lymph node dissection for advanced germ cell tumor.	Miki T Nakamura T Kawauchi A	泌尿器科
Journal of Endourology, 23(11), 2009. 11.	Transvesical laparoscopic cross-trigonal ureteral reimplantation for correction of vesicoureteral reflux: initial experience and comparisons between adult and pediatric cases.	Kawauchi A, Naitho Y, Soh J, Okihara K, Miki T	泌尿器科
Urology, 74(4), 2009. 10.	Histologic and electrophysiological study of nerve regeneration using a polyglycolic acid-collagen nerve conduit filled with collagen sponge in canine model.	Suzuki K, Kawauchi A, Nakamura T, Soh J, Miki T	泌尿器科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Urology, 16(11), 2009. 11.	Radiofrequency ablation for renal tumors: Our experience.	Kawauchi A, Nakamura T, Soh J,	泌尿器科
International Journal of Urology, 16(10), 2009. 10.	Transrectal ultrasound navigation during minilaparotomy retropubic radical prostatectomy: impact on positive margin rates and prediction of earlier return to urinary continence.	Okihara K, Kamoi K, Yamada T, Ukimura O, Kawauchi A, Miki T	泌尿器科
International Journal of Clinical Oncology, 14(5), 2009. 10.	Salvage chemotherapy with paclitaxel and gemcitabine plus nedaplatin (TGN) as part of multidisciplinary therapy in patients with heavily pretreated cisplatin-refractory germ cell tumors.	Shiraishi T, Nakamura T, Mikami K, Takaha N, Kawauchi A, Miki T.	泌尿器科
International Journal of Urology, 17(2), 2010. 2.	Recent strategy for the management of advanced testicular cancer.	Nakamura T, Miki T	泌尿器科
Cancer Research, 70(2), 2010. 1. 15.	Myocardin functions as an effective inducer of growth arrest and differentiation in human uterine leiomyosarcoma cells.	Kimura Y, Miki T	泌尿器科
Cellular Physiology and Biochemistry, 25(4-5), 2010. 3.	Chloride ion modulates cell proliferation of human androgen-independent prostatic cancer cell.	Hiraoka K, Kawauchi A, Miki T	泌尿器科
International Journal of Urology, 17(3), 2010. 3.	Laparoendoscopic single-site urological surgery: initial experience in Japan.	Kawauchi A, Kamoi K, Soh J,	泌尿器科
Palliative Care Res 4: 101-111, 2009年4月	緩和ケア教育における精神科研修の必要性についての検討—精神科医の立場から—	羽多野 裕	精神神経科
精神科14(5): 413-418, 2009年5月	統合失調症に合併する認知症	柴田敬祐	精神神経科
精神医学51(7): 693-695, 2009年7月	私のカルテから—心因性失声症に解決志向型アプローチが有効であった1症例	正木大貴	精神神経科
精神科 15(1): 100-104, 2009年7月	前頭側頭型認知症における暴言、暴力行為に、zotepineが有効であった1症例	松岡照之	精神神経科
Psychogeriatrics 9: 147-150, 2009年12月	Challenging behavior of patients with frontal dysfunction managed successfully with behavioral intervention.	Narumoto, J.	精神神経科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuroimage 49(1):121-6. 2010年1月	Reduced serotonin transporter binding in the insular cortex in patients with obsessive-compulsive disorder:a [11C] DASB PET study	Matsumoto, R.	精神神経科
Pain 142: 59-67, 2009	Periganglionic inflammation elicits a distally radiating pain hypersensitivity by promoting COX-2 induction in the dorsal root ganglion	天谷 文昌	麻酔科
Anesthesiology 111(6):1227-37, 2009	Phosphodiesterase 3 inhibition reduces platelet activation and monocyte tissue factor expression in knee arthroplasty patients	中嶋 康文	麻酔科
Int J Antimicrob Agents 32(12):368-370, 2009	Pharmacokinetics and tolerance of linezolid for meticillin-resistant Staphylococcus aureus mediastinitis in paediatric patients	志馬 伸朗	麻酔科
Interact Cardiovasc Thorac Surg 8(6):624-628, 2009	Clinical and hemodynamic factors associated with the outcome of early extubation attempts after right heart bypass surgery	志馬 伸朗	麻酔科
J Anesth 23(1): 80-86, 2009	Hyperventilation versus standard ventilation for infants in postoperative care for congenital defects with pulmonary hypertension	志馬 伸朗	麻酔科
Bio-Medical Materials and Engineering, 20巻, 2010年1月	Immunohistochemical study of oral epithelial sheets cultured on amniotic membrane for oral mucosal reconstruction	雨宮 傑	歯科
Inflammation and Regeneration, 30巻, 2010年1月	Tissue engineering by transplantation of oral epithelial sheets cultivated on amniotic membrane for oral mucosal reconstruction	雨宮 傑	歯科
American Heart Journal 2009;157:875-882(平成22年5月1日)	Doppler-derived preoperative mitral regurgitation volume predicts postoperative left ventricular dysfunction after mitral valve repair.	山野 哲弘	臨床検査部
International Journal of Hematology 2010; 91:340-341(平成22年3月1日)	Monitoring plasma heparin concentration in a patient with antiphospholipid syndrome	稲葉 亨	臨床検査部

小計

10

計

114

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 岩井 直躬
管理担当者氏名	事務部長 柴田 一宏

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療情報管理室 各診療科外来 病棟 調剤室 フィルム庫	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年1月から電子カルテシステムを導入し、電子データでの管理を行っている。 手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等は、カルテに整理して、診療情報管理室に保管。 通院・入院中のアクティブカルテについては、各診療科の外来・病棟で保管。 処方箋は調剤室に、エックス線写真はフィルム庫で保管。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	
	高度の医療の実績	医事収納課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事収納課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院管理課 薬剤部	
一規 項則 第一 号に 掲げ る第 一 項各 号及 び第 九 条の 二十 三第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事収納課	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部 医療安全管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院管理課長 荒田 均
閲覧担当者氏名	病院管理課副課長 田川 裕隆
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課 総務調整担当

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	60.5 %	算定期間	平成21年4月1日 ~ 平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	12,083人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,977人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	438人	
	D: 初診の患者の数	29,824人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

①	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
	指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全管理のための基本的な考え方 ○ 安全管理のための組織 ○ 医療事故発生時の対応 ○ 医療事故及びインシデント報告制度 ○ 職員の教育・研修及び啓発 ○ 患者相談窓口 	
②	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
	活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全管理のための指針の策定及び変更 ○ 院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施 ○ 安全管理のための教育・研修及び啓発の検討 	
③	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
	研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療器具の正しい使い方、危険薬の誤投与防止 ○ せん妄のリスクの回避 ○ ラテックス・アレルギーについて ○ 法医学からみた医事紛争への対応、医療事件について 	
④	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
	医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無) <ul style="list-style-type: none"> その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療安全のための院内調査ラウンドの実施 ○ 職員間での情報共有と注意喚起のための、インシデント事例等を掲載した「医療安全管理部レター」の発行 ○ インシデント事例を記載した「医療管理部ファイル」の作成、供覧 ○ 人工呼吸器のリスク管理のための、チームによる院内ラウンドの実施 	
⑤	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑥	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑦	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
	所属職員： 専任(1)名 兼任(7)名 <ul style="list-style-type: none"> 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療事故、インシデントに係る報告のとりまとめ ○ 医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析 ○ 安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導 ○ 安全管理のための教育、研修の実施 ○ 安全対策の推進 	
⑧	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	有 ・ 無

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

①	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
	・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全管理のための基本的な考え方 ○ 安全管理のための組織 ○ 医療事故発生時の対応 ○ 医療事故及びインシデント報告制度 ○ 職員の教育・研修及び啓発 ○ 患者相談窓口 	
②	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
	・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全管理のための指針の策定及び変更 ○ 院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施 ○ 安全管理のための教育・研修及び啓発の検討 	
③	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
	・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療器具の正しい使い方、危険薬の誤投与防止 ○ せん妄のリスクの回避 ○ ラテックス・アレルギーについて ○ 法医学からみた医事紛争への対応、医療事件について 	
④	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
	・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無) <ul style="list-style-type: none"> ○ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療安全のための院内調査ラウンドの実施 ○ 職員間での情報共有と注意喚起のための、インシデント事例等を掲載した「医療安全管理部レター」の発行 ○ インシデント事例を記載した「医療管理部ファイル」の作成、供覧 ○ 人工呼吸器のリスク管理のための、チームによる院内ラウンドの実施 	
⑤	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑥	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑦	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
	・ 所属職員： 専任(1)名 兼任(7)名 <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療事故、インシデントに係る報告のとりまとめ ○ 医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析 ○ 安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導 ○ 安全管理のための教育、研修の実施 ○ 安全対策の推進 	
⑧	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	① 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策に関する基本的考え方 ・ 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項 ・ 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 ・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 感染症発生状況報告（対応状況も含む） ・ MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む） ・ 抗MRSA薬等の使用状況報告（適正使用に関する指導状況も含む） ・ その他院内感染対策の推進に関する方策の検討 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 10 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染予防対策研修基礎コース（3回シリーズ） 内容：標準予防策・手指衛生・感染経路別対策・感染対策に必要な微生物学・細菌検査・カテーテル管理・消毒剤の知識・創傷管理・誤嚥性肺炎防止人工呼吸管理・その他（ケーススタディ） ・ インフルエンザ（新型及び季節性）関連 ・ 防護服トレーニング ・ 鳥インフルエンザ 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （① 有 ・ 無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医師部門に「感染対策推進医師」を、看護部門に「リンクナース」をそれぞれ配置し、感染症情報やその対応について、院内腫瘍会議でのアナウンスや電子メール配信等の手段により随時周知徹底を図っている。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容： 医学部6年次生対象「医薬品の安全管理と安全使用」 新人看護師対象「これだけは知っておきたいクスリの話」 看護部集合研修「エキスパートナース研修（緩和ケア、化学療法の2講座）」	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有) ・ 無) ・ 業務の主な内容： 手順書に即した段階的なチェック	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理委員会（月2回・第二・四火曜日）：アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有化と過誤防止策の決定 リスクマネージャー会議（不定期開催：月1～2回）：過誤防止策の具体的な検討 過誤防止策の具体的・緊急的検討 <今年度の改善事項> 調剤鑑査システムの更新／ハイリスク薬の区別保管・表示（院内全体） 5Sの周知徹底／調剤棚における複数規格・類似外観薬剤の注意表示 など	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 11 回
<p>・ 研修の主な内容： 新規導入人工呼吸器(IMI VELA)に対する安全使用研修会を開催(10回) ICUに導入した血液浄化装置に対する安全講習会(1回) 2010.10現在 他 看護部主催のラダー研修会(ME機器の基礎知識と技術)に協力(2回) 看護部OSCEに協力 他研修会計画多数あり</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の作成 ○有 ・ 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容： 特定保守管理機器5品目(人工心肺と補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器)については製造メーカーの基準項目に準じて院内実施、及び機種によりメーカー実施。他の医療用電子機器30品目についてはMEセンター委託会社により年2回を計画的に実施している。各機器の個別データと点検結果は専用コンピュータ(PC Meister)に入力し、紙baseでの管理も実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ○有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の添付書類関係は全て機器別にMEセンター内でファイル管理済み。注意喚起文書類も同様であるが、医療安全に関連するものについては各個別病棟に連絡し、場合によっては医療安全管理部と連携し、情報伝達を徹底するようにしている。</p>	